

内科

# 総合感染症科

TEL 022-717-7766(外来)

完全予約制

科長 青柳 哲史



診療科WEB



外来担当医表

総合感染症科は、感染症専門医、抗菌化学療法指導医等の資格を有する医師が診療に携わり、薬剤耐性菌感染症、免疫不全関連感染症、術後感染症など多様な感染症の診断・治療・予防のトータルマネジメントを実践しています。

公衆衛生の発展や優れた抗微生物薬の開発で制圧できたかに見えた感染症は再び私たちの前に大きな脅威として立ちはだかっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌などの薬剤耐性菌による院内感染の全国的な発生や、世界的大流行(パンデミック)に発展した2009年の新型インフルエンザウイルス感染症、西アフリカにおけるエボラウイルス病、中東を中心に現在も発生が続いている中東呼吸器症候群(MERS)、そしてまさに今、パンデミックとなっている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)など、さまざまな新興・再興感染症が次々と出現しています。感染症は個人・病院の問題に留まらず時に社会全体の脅威となることから、当診療科では病院内外における感染症マネジメントを行っています。さらに、宮城県における唯一の第一種感染症指定医療機関として、エボラウイルス病など感染リスクの高い感染症にも対応可能な第一種病室を設置し、宮城県の感染症診療を支えていきたいと考えています。

## 主な対象疾患

重症全身性感染症：敗血症、細菌性心内膜炎、髄膜炎／呼吸器感染症：肺炎、気管支炎（慢性・急性）、上気道炎、結核、非結核性抗酸菌症、インフルエンザ／消化器感染症：腸管感染症（細菌性・ウイルス性など）、胆道感染症／尿路感染症／外科手術関連感染症、移植関連感染症、免疫不全関連感染症、その他各科領域関連感染症／HIV感染症／薬剤耐性菌感染症／熱帯感染症：寄生虫感染症、渡航者感染症／新興ウイルス感染症（新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、エボラウイルス病（EVD）、中東呼吸器症候群（MERS）、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）など）